

令和2年度 第1回江南市総合教育会議 会議録

開催年月日 令和2年7月20日（月）

場 所 江南市防災センター 災害対策本部会議室

出席委員	市長	澤田和延
	教育長	村良弘
	教育長職務代理者	後藤鎮全
	委員	藤田佐知子
	委員	山田茂美
	委員	野木森 広

会議に出席した事務局職員

企画部長	郷原実智雄
秘書政策課長	平松幸夫
秘書政策課主幹	田中元規
教育部長	菱田幹生
教育課長	茶原健二
教育課管理指導主事	伊藤勝治
教育課主幹	夫馬靖幸
教育課主査	都築尚樹
生涯学習課長	可児孝之
スポーツ推進課長	中村雄一
学校給食課長	仙田隆志
こども未来部長	村井 篤
こども政策課長	稲田 剛

傍聴者数 0名

議 題 (1) 「江南市の教育に関する大綱」の進捗状況について
(2) 児童生徒1人1台学習用端末の整備について

午後1時22分 開会

<企画部長>

若干定刻より開始時間が早いですが、皆様おそろいですので、ただいまより「第1

回 江南市総合教育会議」を開会させていただきます。

この会議につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第1項の規定に基づきまして、本市の教育に資するため設置するもので、市長と教育委員会が十分な意思の疎通を図り、本市の教育に係る課題やあるべき姿を共有し、連携して教育行政に取り組むものでございます。

それでは、開会に当たりまして、澤田市長より挨拶を申し上げます。

<市長あいさつ>

皆さんこんにちは、澤田でございます。本日は、大変お忙しい中、「令和2年度 第1回 江南市総合教育会議」に御出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度は新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、日本でも4月7日に7都道府県に向けて緊急事態宣言が発令され、4月16日には全国に拡大されました。

外出を自粛する生活や、多くの企業もテレワークを実施するなど、人との接触を8割減らすための様々な取り組みが行われ、今もストレスを感じて生活される方も多くみえると思います。また、日本経済のみならず、飲食店や中小企業の方々も大きな経営のダメージを受けられており、江南市としましても、国の給付金支給とともに、様々な支援策を実施している状況であります。

学校におきましても、3月からの長い臨時休業から、5月末にやっと再開し、6月から通常の授業を行っていますが、例年より2か月短いカリキュラムの中、感染を警戒しながらの授業で、先生方も苦勞されていると思います。

今年度につきましては、11校で便所改造工事を行い、令和2年度には、すべての学校のトイレの改修を終え、洋式化していく予定でございます。また、国が進めています「GIGAスクール構想」に沿いまして、江南市でも補助金等を最大限活用し、学習用端末の早期整備を目指してまいりたいと考えています。

この総合教育会議は、首長と教育委員会が連携して教育行政の推進を図ることを目的とする会議であります。本日の会議でございますが、「江南市の教育に関する大綱の進捗状況」と、「児童生徒1人1台学習用端末の整備」について、協議をしてまいります。教育委員会の皆様には、それぞれの立場から率直な御意見をいただくことをお願いいたしまして、私からのあいさつとさせていただきます。

<企画部長>

ありがとうございました。本日の出席者につきましては、お手元の名簿と配席図をもって代えさせていただきますので、どうぞよろしくようお願いいたします。では、ここからの進行は、本会議の招集者でございます澤田市長にお願いをいたします。

<市長>

それでは、議事を進めてまいりたいと思います。議題1「江南市の教育に関する大綱」の進捗状況について、でございます。この大綱につきましては、平成28年3月に最初の教育大綱を策定し、昨年度、この総合教育会議の場において、教育委員の皆さま

まの意見をお聞きしながら、改訂を行ったものです。

今年度については、重点施策の進捗状況の報告となりますので、教育課、学校給食課、スポーツ推進課、生涯学習課、こども政策課の順で報告をお願いします。

<教育課長>

教育課長の茶原です。よろしくお願いします。「江南市の教育に関する大綱」につきましては、昨年度、総合教育会議にて議論を重ね改訂した後、今回が最初の会議となります。それでは、令和2年度の進捗状況の報告となりますので、資料1の「江南市の教育に関する大綱」をご覧ください。2ページをお願いいたします。

大綱は教育行政における目標や取り組み方針である「基本方針」と重点的に取り組むべき「重点施策」で構成されています。基本方針は、柱1から柱5まであり、柱1は教育課と学校給食課、柱2が教育課、柱3がスポーツ推進課と生涯学習課、柱4が生涯学習課、柱5がこども政策課の分野となっています。

それでは、3ページをお願いします。「柱1 地域に開かれた快適で安全な学校づくりの推進」に対応する施策としまして、「①コミュニティ・スクール事業の推進」について、2年度の進捗状況をご説明します。

コミュニティ・スクール事業は地域とともにある学校づくりを目指すため、学校と地域が連携し学校運営を進め、教育力の向上を図るものです。昨年度は、それぞれの学校の課題などを地域の方々と共有し、特色のある学校づくりを目指すため、小中合わせて72回の運営協議会が開かれましたが、今年度は新型コロナウイルスによる臨時休校の影響により、ほとんどの学校が第1回の会議を終えたところとなっています。その中で校長の運営方針の承認や、年間活動予定、新型コロナウイルス感染症に対する学校での対応などについて協議が行われています。

続いて、「②学校施設の整備、充実」について、2年度の進捗状況をご説明します。安全で快適な学校生活を送ることができる教育環境を構築するため、快適な学習環境の整備や、老朽化した校舎等の改修など学校施設の整備、充実を図るものです。

文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用しながら、毎年実施しているトイレ改造工事ですが、今年度は、小学校は布袋小学校外4校、中学校は布袋中学校と宮田中学校、また、体育館のトイレのみの改造は宮田小学校外3校の合わせて11校の工事を実施していきます。それぞれ6月に入札を行い、今月から現場着手しており、トイレを和式から洋式トイレに改修するとともに、配管や床の湿式から乾式へ変更など全面的に修繕を行い、今年度で計画しています市内全ての学校トイレ改造工事が終了する予定です。

また、昨年度各学校に整備しましたエアコンについては順調に稼働しており、今年度の夏季休業短縮に伴う授業についても、有効に活用してまいります。

続いて、「③特別支援学級等支援職員等の市費による学校職員の配置の充実」について、2年度の状況をご説明します。特別支援学級及び通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒に対する支援の充実を図るため、特別支援学級等支援職員などについて、市費での人的支援を図るものです。

2年度は、保護者や学校現場において要望の多い特別支援学級等支援職員を3名増員

し、小中学校合わせて26名で支援を行っています。

また、今年度から始まりました小学5・6年生を対象とした英語の教科化及び3・4年生を対象とした外国語活動時間のため、英語指導助手を1名増員し、派遣1名とあわせて7名で指導を行っています。

続いて、「④ICTを活用した教育環境の整備、充実」について、2年度の状況をご説明します。児童・生徒の能動的な学習への参加を促し、思考力や表現力、発表力などを育むため、ICT環境の整備を図るものです。

2年度は、国が進めます「GIGAスクール構想」に基づき、小中学校での1人1台学習端末の整備の推進を図っています。詳しくはこの後の議題2で、議題を上げていきますのでよろしくお願いします。

続いて、「⑤安心・安全な給食の提供」は学校給食課からの説明となります。

<学校給食課長>

学校給食課の仙田です。よろしくお願いします。「⑤安心・安全な給食の提供」について、進捗状況について報告させていただきます。令和元年度の進捗状況につきましては、まず新給食センターの候補地につきまして、候補地となりえる土地について関係部署等に意見を伺いながら検討を重ねてまいりました。今後につきましては、早い時期に検討結果をまとめて、政策会議に諮ってまいりたいと考えております。

また、令和元年度の取り組みとして安心・安全な給食を提供するために、退職等で減少する職員の代わりとして、派遣調理員を給食センターに3名ずつ配置いたしました。以上で報告を終わります。

<教育課長>

続きまして、「柱2 心豊かな子どもの育成支援の推進」に対応する施策といたしまして、「①子どもを育成する環境の充実」について、2年度の状況をご説明します。人間性豊かな子どもを育成し、児童生徒の不安や悩みが解消され、不登校やいじめ問題を解決するため、心の教室相談員などについて、市費での人的支援を図るものです。

2年度は、昨年度と同様に、心の教室相談員15名とスクールソーシャルワーカー2名を配置し、児童生徒に対して相談活動の充実に努めております。また、県がスクールカウンセラー8名を配置しており、児童生徒のみならず教員の相談にも応じる体制を整えています。

続いて、「②子どもの将来教育・社会体験の充実」について、2年度の状況をご説明します。勤労観・職業観の育成を発達段階に応じて教育活動の全領域で取り組むため、地域との連携を強化し、キャリア教育、ボランティア活動の充実を図るものでございます。

キャリア教育といたしましては、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、例年行っています中学2年生の職場体験学習は中止いたしますが、「働く人の話を聞く会」など、各学校で代わりとなる行事を行いまして、働くことの大切さを学ぶ場を提供していく予定です。

以上で教育課の分野について説明を終わります。

<スポーツ推進課長>

続きまして「柱2 生きがいをもって暮らせる生涯学習環境の整備」についてでございます。スポーツ推進課の中村でございます。「①スポーツプラザを活用した健康づくり」についてです。昨年度、江南市スポーツ推進計画を策定いたしまして、2年度は関係団体、スポーツ推進委員さんらとともに、スポーツの推進を行っているところでございます。3月からコロナウイルスの影響を受けまして、活動が思うようにできないところではございましたが、6月1日から順次、施設の運営の再開を始めまして、現在はコロナウイルスの対策を取りながら、活動を進めているところでございます。報告は以上です。

<生涯学習課長>

続きまして、生涯学習課の可児です。「②新図書館の建設」について説明させていただきます。令和元年度の実施内容といたしましては、布袋駅東複合公共施設の選定業者へ、市から要求する設計水準等を示す要求水準書の内容について精査を行いました。今後につきましては、複合施設の優先候補者の決定についての公表が、7月下旬に予定されており、その後基本協定、事業契約等を締結し、事業に着手することとなっております。江南市図書館基本計画の基本理念に沿って、市民の方々が利用しやすい図書館が整備できるよう事業を進めてまいります。

続きまして5ページをお願いします。「柱4 地域の特色を活かした芸術・文化・交流の推進」の「①芸術文化の振興・郷土の歴史の継承で心を豊かにする地域づくり」でございます。こちらにつきましては、令和元年度の実施内容としましては、市民文化会館で開催しました劇団飛行船のマスクプレーミュージカル等、次世代を担う子ども向けの事業やオータムフェスティバル等、市民参加型の文化事業を展開し、地域の文化芸術活動の拠点となる事業の推進を行いました。

また、伝統文化の展開といたしまして、昨年度6月8日・9日に市政65周年記念事業・第47回文化祭を開催しました。2年度につきましては、新型コロナウイルスの影響で事業の中止や延期しているものもございますが、子ども達が文化芸術にふれる機会を提供するため、引き続き次世代を担う子供向けの事業を展開するとともに、市民文化会館を安心・安全に利用できるように、施設の整備を図っていきます。

また、教養講座など江南市の歴史や、文化的資源を活用した事業の展開をし、文化の向上を図ってまいります。説明は以上となります。

<こども政策課長>

「柱5 地域が支える子育て支援の推進」につきましては、こども政策課から説明させていただきます。「①新・放課後子ども総合プランの推進」と「②放課後児童の居場所づくり」については、関連がございますので、まとめて説明させていただきます。

放課後子ども総合プランは、放課後子ども教室と学童保育に通う児童が、放課後に共

通プログラムでの様々な体験や活動を通して次代を担う人材を育成し、放課後を安心・安全に過ごすことを目的とした放課後対策事業でございます。今後の方針として学童保育につきましては、2年度に布袋北小学校敷地内に新たに学童室を整備し、3年度から受け入れ児童を拡大して実施してまいりたいと考えています。古知野北小学校においても4年度に古知野北部地区複合公共施設の供用開始に合わせまして、古北学供から場所を移しまして実施してまいりたいと考えています。

また、小学6年生までの対象者拡大については、第2期江南市子ども子育て支援事業計画において、令和4年度から全小学校区で実施を目指すとしていますが、前倒して実施できるか検討してまいります。

次に、放課後子ども教室については、古知野北小学校、布袋北小学校を除く市内8小学校で実施しており、そのうち7小学校については放課後子ども教室と学童保育が連携し、共通プログラムを実施しているところでございます。放課後子ども教室を実施していない2つの小学校につきましては、令和3年度に布袋北小学校内の現在学童室となっている教室を活用して放課後子ども教室を開設し、4年度には古知野北部地区複合公共施設内で古知野北小学校児童を対象に開設をしてまいりたいと考えています。併せまして、共通プログラムについて実施していないところも、順次実施していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。説明は以上でございます。

<市長>

説明が終わりました。この件につきまして、ご質問、ご意見をいただきたいと思っております。後藤委員から順番に発言をお願いしたいと思います。

<後藤委員>

この大綱を作った時には本当にできるのかと心配をしていましたが、交付金等を活用し今年トイレの改修が全て終わるということで、学校の施設に関しては前倒しでこれたと思います。その分、市の歳出が非常に膨らんでいるのは申し訳ないと思います。ありがたいと思います。

柱1のICTの活用ですけど、早い段階でそれぞれの学校に設置していただいて、学校訪問でお邪魔する際には、どこの教室でもプロジェクターを活用し授業を行っており、整備していただいて良かったと思います。タブレットについては、まだ教室の全児童生徒が活用するということまでいっていないので、今後の課題と思います。

あと、新給食センターの建設について、先ほど候補地となりえる土地について関係部署等に意見を伺いながら検討しているとのことでしたが、具体的にどれくらいまで進んでいますか。

<学校給食課長>

給食センターの候補地になりえる土地ということで、調理後2時間以内に喫食できること、また7,000人から9,000人の給食を調理するため9,000㎡ほどの敷地面積であること、用地取得が容易かどうか、早期の建設が可能かどうか等を条件に現在、場所

を検討しています。

<後藤委員>

具体的な案はありますか。また、具体的に何年度に建設するといった計画がありましたら、教えてください。

<教育部長>

具体的な場所については、ここでの答弁は差し控えさせていただきます。年度につきましても、まだ立っていません。できるだけ早期に進めていきたいと考えています。

<後藤委員>

早期の建設推進をお願いします。

<市長>

では、藤田委員をお願いします。

<藤田委員>

大綱に記述されている事業が多く、予定通り進んでいくんだろうかと心配でしたが、順調に進んでいるように見受けられました。その中で一番思うのは、昨年エアコン整備が終わっているおかげで、今年新型コロナの影響で夏季休業を短縮しても安全に授業を行えることは、良かったと思います。整備していただいて、ありがとうございます。

<市長>

では、山田委員をお願いします。

<山田委員>

全体的に重点施策にあげている事業が、予定していた期日より前倒しで進んでいる、特にコミュニティ・スクールにつきましても、学校運営協議会が各学校で着実に開かれており、新型コロナウイルスが心配な昨今、運営協議会の方々のお力をいただきながら、学校と地域の方と協力して機能していることに大変嬉しく思っています。

次に学校施設について、トイレやエアコンも前倒しで、皆さまのご協力をいただいて形としてできていることに非常に嬉しく思っています。

また、給食センターやKTXアリーナなどの大きな施設が、日々形となって進行しているということも、市民としてもうれしく思っています。KTXアリーナを利用している方からも、非常に良いというお声も聞いており、良い施設ができたなあ実感しています。

図書館に関しましても非常に期待が大きく、駅に近くて規模が大きくなり、蔵書も増えるということで、本に触れることを好んでいる方にとっては、待ち遠しいもので

あり、先ほど7月下旬ごろに優先候補者の決定についての公表といった話もありましたので、皆さんが待ち望んでいる施設が早く完成することを願っています。

私からは様々な事業が着実に進めていただいているお礼と、今後も引き続き継続していただくことをお願いさせていただきます。ありがとうございます。

<市長>

では、野木森委員をお願いします。

<野木森委員>

今回、江南市の大綱を初めて見まして、予算の裏づけが必要な教育条件整備について言及してあることに驚きました。様々な市町の大綱には、教育の振興の方針ぐらいしか書いていない大綱が多いと認識しているのですが、これだけ教育条件整備について細かに記述してあるのは少ないと思います。そういう意味では江南市の教育行政の進め方はすばらしいと思います。

これは私が教育現場にいた時から感じていたことですが、例えば校舎の耐震化が中々進んでいないといったニュースが出た時でも、江南市は長期に亘って確実に計画を進めているといったことに感心をしていました。

私は仕事上、様々な学校に行くのですが、江南市の学校のトイレが気持ちよく、快適で子どもが幸せだと思っています。ICTについても、近隣市町の中では早めに教員のタブレットやプロジェクターを導入していただいて、他市町から見たらうらやましい状況でありました。ですので、今回GIGAスクール構想でさらに子ども達が使え環境にしていだけるということは、ありがたいことだと思っています。

一つ質問ですが、今の時代、子どものアレルギーやアナフィラキシーショックへの対応が増えており大変と思いますが、新給食センターはどの程度まで想定していますか。

<学校給食課長>

まだ具体的なところまで話は進んでいませんが、様々なアレルギー等に対応できるような新給食センターを建設していきたいと考えています。

<野木森委員>

代替食などを作る施設を増やさないといけないので大変ですが、このような時代ですのでよろしくお願いします。

<市長>

では、教育長をお願いします。

<教育長>

委員の皆様方から大綱に対する意見をいただいた訳ですが、市長から教育に対する

ご支援をいただき着実に進められているということで、教育行政のトップとしても嬉しく思います。

コミュニティ・スクールとしましては、昨年度全校で学校運営協議会を設置しコミュニティ・スクールとなったことで、学校から最低限の活動費が必要との要望があり、今年度から各学校10万円ずつの予算をつけましたが、これも市長のご支援があったということで、学校としては大変嬉しく思っていると聞いています。今年度、8月5日に各学校の学校運営協議会の状況について交流する場を設置する予定です。

学校施設関係はエアコン、トイレとほとんど終わったように思われますが、今後蛍光灯が生産されなくなるということで、学校内の照明のLED化を進めていく必要性があると思われます。

特別支援学級等支援職員の配置ですが、年々少しずつですが増やしていただいて、学校教育の充実が図られていると思います。ただ、特別支援学級では支援員が何人いても足りないと言われていいますので、1人でも2人でも増やしていければと思います。

新給食センターの関係は、早い段階での候補地の検討が必要だと思っています。派遣の給食調理員が今年度から入っており、次の民間委託も視野に入れている訳ですが、現在の派遣職員の状況を教えて下さい。

<学校給食課長>

南北給食センターにそれぞれ3名ずつ派遣しており、責任者、副責任者については他市町で3年程度、3人目は民間施設での経験があるということです。業務もかなり慣れており、正規職員の代わりとして活躍していただいています。

<教育長>

分かりました。次に新図書館の関係では、布袋駅東の複合公共施設が建設されていく訳ですが、旧図書館の在り方については、私自身もこれといった案が出てこないのですが、何か具体案はないでしょうか。

<生涯学習課長>

旧図書館につきましては憩いの場として活用されている実態がありまして、残して欲しいという要望もありました。ただ、新図書館を建設するにあたって国の交付金をいただく条件として、図書館は移転が条件となっていますので、今の施設をどうするかについては、他課の考えもありますし、生涯学習課としての考えも何か活用できればと思うのですが、耐用年数もきていることもありますので、その辺りを含めて検討していきます。

<教育長>

旧図書館の在り方については議会でも声が出ていますので、検討していかなければいけないと考えています。

あと、放課後子ども教室の関係では、いよいよ今年度布袋北小学校で新しく学童室

ができ、4年度には古知野北公民館に学童室が整備され、この大綱が進捗していくという感じがします。共通プログラムですが、放課後子ども教室に学童が参加する形で、今後は見通しや考えはありますか。

<こども政策課>

共通プログラムは現在、主に小学校1、2生が対象となっています。放課後子ども教室は6月から再開していますが、コロナ禍ということもあり、共通プログラム自体は人が集まりすぎることありまして、現在実施を見合わせています。今後、小学校中学年から高学年をどうするかということが課題になってくるわけですが、コロナ禍の中、どれくらい人が集まるか、それに対応できるかを考えながら、どの学年まで対象とするか、今後の課題としていきます。

<教育長>

市長の公約で6年生まで学童の対象を広げていくとあります。その中で先程、令和4年度からの実施を前倒しして3年度からで考えているということをおっしゃいましたが、具体的に見通しはありますか。

<こども政策課>

3年度からは布袋北小学校の新学童室が使用できますので、利用者数を増やして実施できるという認識でいます。古知野北小学校下の学童については、現在、古知野北学供で行っていますが、教室数を増やせるか管理している生涯学習課と協議をしながら進めていきたいと思っております。

<教育長>

全校一斉に6年生までやろうとすると、先程の話のとおり古知野北公民館が完成しないとなかなか進まないということですが、できる所から前倒しで行っていくことを視野に入れていただくと良いかと思っております。できれば市民のニーズに答えられるようにお願いしたいと思います。

先程の野木森委員の話にもありましたが、大綱の中に具体的なことが書かれていて、一步一步進んでいることがうれしく思います。令和4年度までの大綱となっていますが、これが目安となって書かれていることが全て達成できると良いと思っております。

<市長>

教育委員の皆さまにはよく見ていただいております。行政の方も努力をしていただいているということで、進捗状況が良いということでしたが、財政面では非常に苦しいところではあります。しかし、いずれはやらなくてはならないことなので、将来的に進めたことによって楽になってくれば良いのかなど。ただ一方で、エアコンにしてもパソコンにしても、今度はいっぺんに悪くなることを考えますと、さらに新しい財政面での考え方が必要なのかなとも思います。トイレの改修についても、大改造というところ

ころまではいかなかったかもしれませんが、快適な学校というものが出来上がりつつあるのかなと思います。

コミュニティ・スクールにつきましては、私も議員時代からのテーマとして挙げており、あまり型にカッチリはまったものではなく、江南型のコミュニティ・スクールで進めて下さい、とお願い申し上げましたところ、それぞれ特色を活かしながら地域の人達と前向きに進めていただいているということが、うれしく思っているところがあります。

昨年、古知野南小学校でエアコンの下で集中して授業を受けている子ども達の姿を見ました。また、先生に聞きましたところ、授業でタブレット等を使うことにより、子ども達がより集中しやすい環境になりつつあるとのことでした。今後は、どのようにソフトを使っていくか、先生方がご苦労されるかもしれませんが、多くの教材やツールによって、テレワークもできるような生徒にしていく、そういった風に進めていかれることを望んでおります。

給食センターにつきましては、用地を決めていかなければいけないという大きな問題がありますけど、これが決まれば順調に進んでいくのではないかと考えています。図書館につきましては、事業者がこれで決定してきますので、今後はその中の図書館の機能について、これまでの会議で出たご意見を活かしながら進めていかなければいけないと考えています。地域に誇れる、江南市が他市町に誇れる、そういった施設にしていきたいと考えていますので、またご意見等をよろしくお願いします。

教育長からご紹介ありましたが私の公約で残っているのは、6年生までの学童保育ということですので、これを早期に実現していただきたいと考えています。私の方からは以上でございます。

それでは、次に議題2「児童生徒1人1台学習用端末の整備について」です。事務局からの説明を求めます。

<教育課長>

資料2をお願いいたします。G I G Aスクール構想における江南市の方針変更について、ご説明させていただきます。

1、今までの整備方針について、です。国が進めるG I G Aスクール構想のロードマップに沿い、国の補助対象となる全児童・生徒の2/3の学習者用端末を令和5年度までに、段階的に整備していくこととし、現在、すでに導入している児童・生徒用タブレットにつきましては、リース更新時まで併用させ、更新に合わせて市費で対応が必要な1/3分の端末を整備していく計画としていました。

具体的な年度ごとの整備計画につきましては、令和2年度が校内LANケーブルを1Gbpsから10Gbps対応及び電源キャビネットを整備、こちらにつきましては3月補正で予算を計上し、現在、整備を進めています。また、小学校5、6年生及び中学校1年生の補助対象分2/3を整備、こちらにつきましては、補助の内示があり、6月補正で予算計上させていただきました。

次に令和3年度が中学校2、3年生の補助対象分2/3を整備、次に令和4年度が

小学校3、4年生の補助対象分2/3を整備と小学校におけるタブレット等のリース満了時に、1/3分の端末を整備。次に令和5年度が小学校1、2年生の補助対象分2/3を整備としていました。当初のGIGAスクール構想のロードマップではこのような計画となっていました。

続きまして、2、整備方針の変更について、でございます。令和2年4月30日に成立した国の令和2年度補正予算において、「GIGAスクール構想の加速による学びの保障」として、1人1台端末を早期実現させるため当初は令和3年度以降に予定されていましたが、小学校1～4年生、中学校2、3年生分の端末補助の前倒しが決定いたしました。

さらに、5月27日に成立した第2次補正予算では、「新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金」の拡充も決定され、この臨時交付金を学習者用端末に充当していくことも可能とされています。また、今回の新型コロナウイルスによる長期の学校休業により、世間ではICTを活用した自宅学習に対応できる環境づくりが求められており、多くの近隣市町も今年度に全児童・生徒を対象とした端末の整備完了を目指しています。

これらを受けまして、当初令和5年度までに整備予定としていた本市の計画につきましても前倒しを行い、市費負担分も合わせ令和2年度で全児童・生徒に対し、国が求める1人1台端末の実現を促進していきたいと考えています。

裏面をお願いいたします。今後の具体的な予定です。令和2年6月補正で8,478万円を計上させていただきました。小学校5・6年生、中学校1年生の補助対象2/3分で、財源は、全額、国の補助金となっています。積算根拠は、1,884台×45,000円です。また、アカウント等設定費につきましては、GIGAスクール構想の補助対象となっていないことから、校内LAN工事に含め、LAN工事の補助金1/2を充てていく予定としています。

次に、令和2年6月補正以降の計上としまして、3億2,138万2千円を予定しています。その内訳につきましては、まず、小学校1～4年生、中学校2・3年生の補助対象2/3分で、財源は、全額、国の補助金となっています。国が前倒しを行った分です。積算根拠は、3,615台×45,000円で、1億6,267万5千円です。

次に、第2次臨時交付金にて対応要望です。小学校1～6年生、中学校1～3年生の市整備1/3分としまして、2,749台×45,000円で1億2,370万5千円です。

また、補助対象外となるアカウント等設定費といたしまして、3,500万2千円を臨時交付金でお願いしたいと考えています。したがって、臨時交付金の合計といたしましては、1億2,370万5千円に3,500万2千円を加えた1億5,870万7千円となるものです。

続きまして、3、既存のタブレット等について、です。児童・生徒用タブレットにつきましては、今回導入予定の端末は保守委託を行わないため、故障時の代替用として活用していきます。また、教員用のタブレットについては、それぞれリース満了時まで使用いただき、リース満了後今回導入予定の端末をリースしていく予定です。

続きまして、4、近隣市町の動向、です。令和2年度に全学年の整備予定市町につ

きましては、犬山市、岩倉市、扶桑町、大口町の丹葉地区の全の市町、また、稲沢市、小牧市、春日井市においても、今年度中に全ての学年の整備を進めることと伺っています。説明は以上です。どうぞよろしくお願いいたします。

<市長>

説明がおわりました。この件につきまして、ご質問、ご意見をいただきたいと思えます。後藤委員から順番に発言をお願いしたいと思います。

<後藤委員>

現在タブレットとプロジェクターを設置していただいておりますが、運用は各学校に任せられていますが、今回のパソコンを1人1台設置するという点については、各学校に格差がないよう、ある学校はパソコンに長けている先生が多いから進んでいくが、ある学校は少ないから進んでいけないといったことが起きてはいけませんので、児童生徒が同様に教育を受けていけるように、教育委員会がある程度は活用の方法を主導していただきたいと思えます。

教育委員会では一部の学校をモデル校として、先行してやっていきたいという意見がありました。1つの学校、1つの学年といったある程度限定してどういう形でやっていけば良いかということ、実際に行ってみて方向性を見出していけたらと思えます。

<教育課長>

6月補正で計上させていただきました小学校5、6年生、中学校1年生の2/3分につきましては県の共同調達を行っていきませんが、納入業者が決まるのが8月上旬から中旬を予定しています。その後、他の全学年を市の指名競争入札で行っていきます。したがって2本の契約となりますが、そうなりますと6月補正分だけ先に納入される可能性もありますので、その端末を活用し、どこかモデル校的なことを実施していくことは可能かと思えます。

<市長>

では、藤田委員お願いします。

<藤田委員>

一日も早い実施を願っています。今年は新型コロナウイルスの影響で休校が延長され、子ども達は先生、友達とのつながりが断たれストレスが募っているように見えました。そのような中、メディアでは国内外のオンライン授業の様々な取組が紹介されていきました。シンガポールではSARSが流行した時の教訓として、年に2度ほど家庭でのオンライン授業を徹底するなど準備を進めていたということで、今回の新型コロナウイルスについては、うまく対応できたそうです。将来的に文房具の代わりになる、当たり前のように使えるようになるには、テストを重ねていくのが非常に重要だ

と思います。その一步を早く踏み出せるよう、よろしくお願ひします。

<市長>

では、山田委員お願ひします。

<山田委員>

今回新型コロナウイルスの影響で自宅にとどまることになり非常に苦しい思いをしている中、GIGAスクール構想等の補助金を活用し児童生徒1人1台の端末整備という、将来に向けた前向きな協議が進んでいくことに嬉しさを感じます。学習指導要領もプログラム教育の必修化等が進んでいる中で、将来AIなどが活用される時代を生きていくであろう子ども達が、学校の中で1人1台のパソコンを使って授業を進めることが出来ることは非常に良いことだと思います。

今まではリースでタブレット等を整備していますが、今回は購入で整備していただけるということで、そこが大きく違うのではないかと思います。市長もおっしゃっていましたが、リースであれば期限が来れば新しい物に借り換えていくことになりませんが、購入してしまうと切り替えはいつなのか、そこが心配になります。

例えば今年度、1人1台ということでスタートしましても、年度途中での転入、転出で学校の児童生徒数が変わってしまう場合もあるので、そういった場合の対応がどうなるのか少し心配になります。児童生徒数が変わった時の対応はどうなるのか、そして5、10年と経っていく中で機種が変わっていくなど、どのような見通しが立っているのかお伺いしたいと思います。

<教育課長>

まず、端末の台数の変化ですが、国の補助事業の児童生徒数の基準日が令和元年5月1日となっていて、現在の令和2年度の児童生徒数を見てみますと、約180人減少しております。この差分が予備機となりますので、これで転入等には対応できるかと思っています。また、更新についてのお話ですが、端末の税法上の耐用年数は4年くらい、市のリース契約ですと5年から6年ということで、最低でも6年間は使用していきたいと考えています。そして問題としましては、単純に計算しましても45,000円×8,000人で3億6,000万円、次の更新時にかかってくるということで、次はリース契約にするといったことも含めた検討をしていかねばならないと思います。ただ、更新費の話は全国の多くの市町村も同様の問題ですので、国も何らかの措置を行ってくれるのではないかと考えてます。また、他市町からの話ですと、先程話にも出ていましたが、将来的には文房具と同様に各ご家庭で用意をしていただき、それを学校に持っていくようになるのではないかと、というような話も出ていますので、その辺は情報収集に努めていきたいと思っています。

<市長>

では、野木森委員お願ひします。

<野木森委員>

国の予算の前倒しにより早期に整備していただけることはありがたいと思います。後藤委員もおっしゃいましたが、1人1台になると、どのように利用していくかは教員もなれるまでに時間がかかると思います。

一点質問しますが、江南市の教員用のタブレットはiPadですか。

<教育課長>

Windows です。

<野木森委員>

今度、児童生徒用に調達するのはChrome ですか。

<教育課長>

その通りです。

<野木森委員>

児童生徒と教員が違うOSなのは問題ないのですか。

<教育課長>

対応できると聞いています。

<市長>

では、教育長お願いします。

<教育長>

当初の国のロードマップであれば、後藤委員のおっしゃる通り、ある学年で検証しながら次の学年に移行することができたかと思えます。今回のように一度に整備となりますと小学校低学年などは、どのように活用していけば良いか非常に悩みます。検証するためには今年度中にチームをつくり、端末が納入される前のある程度の共通理解をしていかなければいけないと思っています。実際、端末が入ってくるのが教育課長の話にあった通りだとしますと、年度末くらいになってくる可能性があります。その間を利用しながら先進校の事例を参考に、各学校に伝えていかないと、端末が整備されて宝の持ち腐れになってしまっただけではいけないと思いますので、江南市だけでなく丹葉地区全体のレベルを上げる意味でも、各市町の教育委員会が連携して協議をしながら進めていく必要があると思います。当然、教育委員会と学校も連携しながら活用を図る方法を進めていかなければいけないと思います。

また、今回は新型コロナウイルス対策の中でのGIGAスクール構想の前倒しとして、藤田委員のおっしゃったように家庭での活用ということも国に想定の中には入っ

ている訳で、その部分もどういう風に進めていくかは大きな課題となっています。オンラインで双方向に授業ができるようになっていけばベストかもしれませんが、実際には難しいところもありますので、録画したものを送信するといったことも考えていかなければいけないと思っています。

委員の皆さんのご意見もいただきながら、考えてまいります。

<市長>

数年前になります、市長会でパソコンを使った授業というのを、東京で研修させてもらったのですが、子ども達や先生がこういう風に使っていくんだという、完成したものをを見せてもらい、これはいち早く取り入れないと子ども達がコンピューターに慣れないうちに終わってしまう、先生達も技術力上げていただく機会が必要であるとの思いがあり、台数が限られ十分なことはできなかったのですが、タブレットの導入を始めた訳ですが、当時先生方も苦勞されながら、パソコンを使った授業を色々と考えて始められたと聞いています。

先日、古知野南小学校で見せていただいた授業では、子ども達が共通でタブレットを覗き込んで話し合いながら授業を受けており、集中力とか気持ちを高めようといった意味では効果があるなと思いました。併せて支援を必要とする子ども達には、非常に入り易いということもお聞きしたので、そうした意味でも子ども1人1人にパソコンが配備され、そして十分な教育をなされていくというのが本来の姿だと思っていますので、国の指導をいただきながら、色んなツールが出てくるとは思いますが、その時には財政的な負担が出てくるかもしれませんが、せっきある財産を有効に使っていききたいと思っています。

また、学校の現場から教育委員の皆さんからも、しっかりとご指導をいただきたいと思っています。私からは以上です。

他にいかがでございましょうか。よろしいですか。

委員の皆様方からは、議題1の大綱に示された各事業について、また議題2の児童生徒1人1台学習用端末の整備につきまして、貴重なご意見やご提案をいただきまして、ありがとうございました。ただ今伺いましたご意見などは、今後の教育行政に反映させるべく鋭意努力してまいりたいと存じます。

平成30年度からスタートしました第6次江南市総合計画におけます政策的事業について、教育分野をはじめとしました様々な事業につきまして、精査し取り組んでいるところです。江南市の財政状況を鑑みながら各事業に優先順位を付け、事業を実施してまいりますので、今後も委員の皆さまがお気づきになられましたことや、こんな風になればいいなと思うことなど、今後の総合教育会議などでご提案をしていただければと思います。

貴重なご意見やご提案をいただきまして、ありがとうございました。本日の議題はすべて終了しました。以降の進行につきまして、事務局にお返しいたします。

<企画部長>

これにて本日の会議を終了させていただきます。本日は、誠にありがとうございました。

午後 2 時 35 分 閉 会